

Japan Evangelical Theological Society

## 日本福音主義神学会

J·E·T·S·NEWS Vol.25

発行所/270-1347 千葉県印西市内野3丁目301-5-1 東京基督神学校内

## 全国研究会議「福音主義神学における牧会」に大きな期待を寄せて

全国理事長 藤本 満

牧会学が、古典的なキリスト教の「牧会」理解を離れて、現代のニーズ・ノウハウ・事例というような路線に走る傾向にあるのではないか、とは我々が共通に抱いている問題意識ではないだろうか。それは歴史学に振り回される聖書学、哲学的方法論に翻弄される組織神学とも共通する問題である。

米国には、教会コンサルタントという専門職がある。地域の教会を回って、会堂の照明、トイレの場所、座席の造り、礼拝プログラムなどの細部にわたって、「プロ」のアドバイスを与える。人々が教会を選ぶ時代にあって、より適切に顧客に対応できる態勢を作ることが目的である。勿論そうした視点の重要性を否定するわけではない。少しの工夫で、教会の雰囲気そのものが改善されることは往々にしてある。しかし、これは牧会学ではない。

また、精神的な悩みを持っている人々がこれほどまでに多く社会と教会に存在している中、カウンセリングが正しくできるように、その方面の知識と技能を身につけたいと切実に願っている牧師は、私だけではないと思う。しかし、これもまた牧会学そのものではない。

牧会学というものが、どこかでプラグマティックな方法論や諸学の特有な理論に振り回されて、正統的なキリスト教神学、すなわち聖書・

神学・教会という牧会学の中心から、それぞれの専門諸分野へ吹き飛ばされ散らされてしまっている感を覚える。

牧会学がその中心を見つめ直すとき、それは聖書学や神学にも健全な刺激を与えることになる。聖書を歴史文書として解剖し、その成り立ちを見極め、様々な釈義の方法論を追求するのではなく、たとえば自殺、痴呆症、戦争、貧困などの身近な問題に生ける神のことばとしての聖書が何を語りかけているのか、という聖書を学ぶ本来の道筋へと聖書学を引き戻すことができるであろう。

また牧会的関心は、神学の活性化にもつながる。大グレゴリオスの『牧会規則書』(pastoralis)、ブーツァーの『まことの牧会について』、バックスターの『改革された牧者』、ノックスやフェヌロンやウェスレーの手紙など、かつて牧会学にあって欠かすことのできなかった歴史神学の所産に再び手をつけることになる。さらに牧会学が神学の門を叩くなら、組織神学で欠落しがちな、摂理、誘惑、苦しみ、悪魔、などの諸問題を掘り下げることが要求してくるだろう。

我々が牧会学へ関心を寄せるとき、聖書学、神学、倫理学が手を取って、本来のキリスト教のあり方を今日に描き出すことになる。

## — 各 地 区 部 会 報 告 —

## ■東部部会報告

## 1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：藤本 満  
書 記：倉沢正則  
会 計：金本 悟

◎学 会 誌：木内伸嘉・藤本 満

◎部門理事 聖書学：内田和彦、津村俊夫  
組織神学：大龍信也  
歴史神学：横山武夫  
実践神学：藤原導夫

## 2. 研究会・講演会

①春の研究会 2001年6月18日  
「臓器はだれのもの—キリスト教倫理の立場から」  
発題：多井一雄氏 応答：二神一人氏

②秋の研究会 2001年11月19日  
「女性教職論」  
発題：内田和彦氏、稲垣緋紗子氏

## ③部門別活動

聖書部門 2002年1月28日  
聖書学：三野孝一氏「旧約聖書における死について」  
D. Little “Hermeneutical Implications of  
Clark pinnock's Pneuma-Centric Theology of Religions”

## 3. 会員異動：なし

## ■中部部会報告

## 1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：安村仁志  
書 記：石川 正  
会 計：佐々木保雄

◎学 会 誌：隈上正敏

◎理 事：黒川雄三、松浦 剛

## 2. 研究会・講演会

①公開講演会 2001年5月14日  
岡山英雄氏  
第一部「患難期と教会—黙示録の終末論」  
第二部「黙示録をどう読むのか」  
②秋季研究発表会 2001年11月19日  
鈴木英昭氏「北米の長老教会の歴史と日本キ  
リスト改革派教会」  
石川 正氏「コミュニケーション・ツールとし  
てのインターネットに関する一考察」

## ③中部部会論集第1号

松浦 剛氏「聖書植物の書誌文献について」  
渡辺睦夫氏 書評 C. シュヴェルツ  
「自然に成長する教会」  
神谷聰子氏「讃美歌 21 についての一考察」

黒川雄三氏「開拓伝道の非神学的エッセー」

安村仁志氏 資料「中部部会の歩み」

## 3. 会員異動

入会：早瀬博明氏、吉野千秋氏、関昌宏氏、赤坂泉氏

## ■西部部会報告

## 1. 理事会構成

◎役員理事 理事長：牧田吉和  
書 記：鷹取裕成  
会 計：石黒則年

◎学 会 誌：市川康則、石黒則年

◎理 事：鎌野善三、工藤弘雄、津村春英、  
橋本昭夫、福田充男、真鍋 孝、  
滝浦 滋、有木義岳

## 2. 研究会・講演会

〔秋の研究会〕 2001年11月19日  
テーマ：「牧会における聖霊の働き」

講演Ⅰ：亀井俊博氏  
講演Ⅱ：松平ヨシユア氏  
講演Ⅲ：大川修平氏  
発題Ⅰ：真鍋 孝氏  
発題Ⅱ：市川康則氏

〔春の研究会〕 2002年4月22日

主題講演：河野勇一氏「牧会におけるリーダー  
シップ（今日の諸問題をめぐって）」

レスポンス：井草晋一氏、市川康則氏、小平牧生氏  
〈聖書学部門〉

クラーク・E・コーブランド氏

「詩篇2篇と9篇の研究」

〈組織神学・歴史神学部門〉

石原知弘氏「カルヴァンにおけるキリストとの結合」

吉岡契典氏「カルヴァンの聖餐論とその展開」

〈実践神学部門〉

奥山信氏「霊性についての一考察」

## 3. 会員異動

入会：金森宏之 鎌野直人 川原崎晃  
除籍：大嶋博道、久保田寛、中野卿代、竹田浩、  
本田右一、黒田朔、中野雄一郎、藤井肇、  
丸屋真也、三橋恵理哉、三輪修男、山脇 満

退会：泥谷逸郎

逝去：入船 尊、芦田昌憲

転出：岡山英雄（東部へ）

## ■全国理事会報告

2002年6月3日(月) 午後1時～4時

愛知県中小企業センター 7階13号会議室

東部：藤本 満、藤原導夫（会計）

中部：松浦剛、佐々木保雄、

隈上正敏(学会誌編集委員会)

西部: 牧田吉和(理事長)、鷹取裕成(書記)、

(石黒則年は所用で欠席)

全国研究会議準備委員会: 伊藤淑美、

(橋本昭夫は所用で欠席)

#### 【デボーション】

聖書: 使徒の働き 2:1~13

開会祈祷: 牧田吉和理事長

#### 《全国理事会議事録》

#### 【報告】

①前回全国理事会議事録の確認(牧田)

②2002年全国研究会議準備委員会報告(牧田)

③各代会報告

東部(藤本): 各部門別研究がされているが、研究会に集まりにくい側面がある。

中部(松浦): 5月に公開講演会、11月に会員研究発表会、年1回会報を発行した。

西部(牧田): 春と秋の年2回の研究会に集中している。

④学会誌編集委員会報告(隈上)

32号の発行が2002年2月になった。主論文は女性教職論で、湊晶子氏、國重潔志氏、稲垣緋紗子氏が執筆された。33号については、特集主題がカウンセリング。2002年11月の全国研究会議の内容とは重ならないようにする。

⑤全国会計報告(藤原)

⑥JETSニュース発行報告(佐々木)

⑦プロシユア、全国会員名簿発行の報告(牧田)

この2件の発行は鷹取理事の配慮のもとにされた。

#### 【議事】

①全国理事会の新組織を次のように決めた。

理事長: 藤本 満

書記: 鷹取裕成

会計: 藤原導夫

②全国会計の予算の件

会計担当の藤原理事より配布の資料に基づいて検討。その結果、学会誌出版諸費90万円を80万円に、予備費65,751円を165,751円に修正した上で承認。

③学会誌の件

33号から横書き組版に変更。主題は牧会カウンセリング、出版費用は80万円(横書き組版への変更で10万円削減が予測される)。

④2002年全国研究会議の件(準備委員会報告)

準備委員会の計画案を承認。クリスチャン新聞への広告は、可能ならば研究会議の会計から支出する。

全国研究会議の記録集を出版することの提案を協議した結果は下記の通り。

(a)いのちのことは社または福音主義神学会で出版。

(b)西部部会を通じ加藤常昭氏に出版了承を得る。

(c)いのちのことは社との交渉は、藤本理事が行なうが、著者が複数になるので、印税については、いのちのことは社の規定に従って算定。

⑤JETSニュースの件

編集係は佐々木理事とし、7月末までに編集係に原稿を送り、9月に発行。

⑥その他の件

(a)各代会からの分担金を早急に(2002年11月までに)送金との藤原理事の要請があり、了承。

(b)西部部会除籍会員の件。会費を長期支払わないためとの確認。

(c)海外会員の件。各代会で適切に処理を確認。

(d)学会誌は各代会に配布し、各代会ごとに保存、管理、販売する。論文執筆者は常に1冊1,000円で購入できることを確認。

(e)次回の全国研究会議の件。中部部会が東部部会と協力してすることを検討。

⑦記録確認: 松浦剛理事

⑧次回の全国理事会の日程

2003年6月2日(月) 1:00~4:00PM

愛知県中小企業センター

⑨閉会祈祷: 松浦剛理事

#### ■学会誌報告

①学会誌委員

東部: 木内伸嘉、藤本満

中部: 隈上正敏

西部: 市川康則、石黒則年

②32号「女性教職論」には、主論文3点、書評1点を掲載。

③本年度33号「牧会カウンセリング」

(副題: 福音派神学の観点から)

◇論文執筆者

・窪寺俊之氏

・赤坂 泉氏「福音派の牧会カウンセリングの確立をめざして」(仮題)

・松阪政広氏

④学会誌「福音主義神学」編集の件

6月3日の全国理事会にて「福音主義神学」誌33号より、従来の縦書きを横書きに改めることが決定された。

福音主義神学会 全国会計報告  
2001年度決算報告ならびに2002年度予算

収 入				支 出			
項 目	01年度予算	01年度決算	02年度予算	項 目	01年度予算	01年度決算	02年度予算
東部分担金	500,000	500,000	500,000	学会誌出版諸費	900,000	900,000	800,000
中部分担金	80,000	100,000	100,000	理事会費	100,000	125,920	130,000
西部分担金	390,000	390,000	390,000	事務通信費	10,000	1,585	10,000
学会誌売上(種)	70,000	70,000	70,000	研究助成金	50,000	0	50,000
広告収入	200,000	200,000	200,000	JETS作成費	50,000	20,855	50,000
献 金	0	0	0	全国名簿作成費	150,000	162,978	0
雑収入	500	173	200	出版基金へ	100,000	100,000	100,000
				全国研究会議費			100,000
				予 備 費	77,216	0	165,751
小 計	1,240,500	1,260,173	1,260,200	小 計	1,437,216	1,311,338	1,405,751
繰 越	196,716	196,716	145,551	繰 越	0	145,551	
合 計	1,437,216	1,456,889	1,405,751	合 計	1,437,216	1,456,889	1,405,751

出版基金会計 2001年度決算報告

収 入		支 出	
全国会計より	100,000		
繰 越	908,421	繰 越	1,008,421
合 計	1,008,421	合 計	1,008,421

会計担当 藤原導夫

日本福音主義神学会ニュース

2002年10月1日発行

発 行 日本福音主義神学会  
編 集 佐々木保雄  
印 刷 小羊刷工房